

むずむず 脚症候群

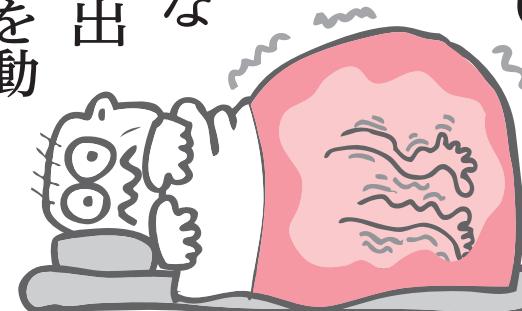


むずむず脚症候群というのを耳にしますが、どういう病気ですか？

A

睡眠時間は足りていても昼間、眠気が強く出る

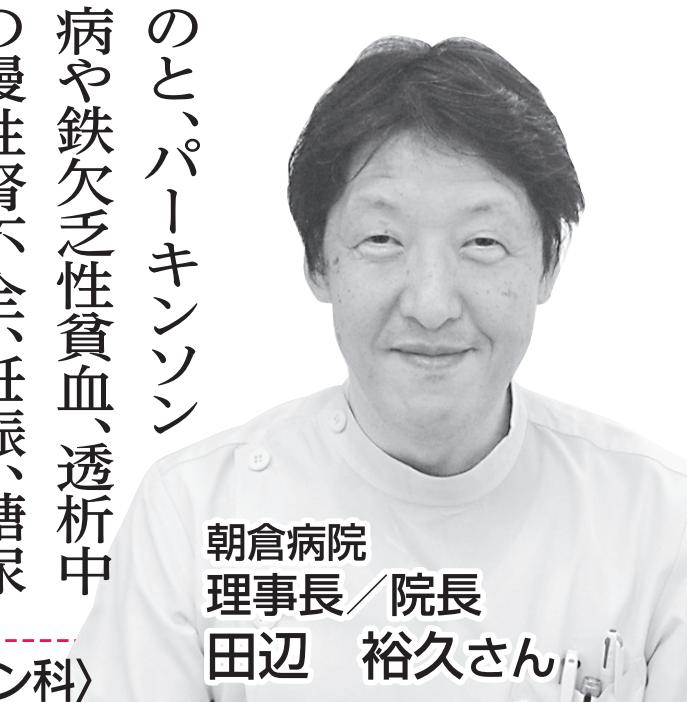
ような症状を過眠症といいます。その一つが、高齢になると増えるむずむず脚症候群(ストレスレッグス症候群)で、脳内のドーパミンという神経伝達物質の機能不全が関係しているといわれています。足の不快な感覚のため足を動かしたくてしようがない。安静時に症状が出て落ち着かない。足を動かすと不快な感覚が良くなる。特に夕方から夜にかけて症状が強くなり、寝ているようで睡眠の質も悪くなり、昼間も眠気が出るこ



とになります。明らかな原因が分からない1次性のも

のと、パーキンソン病や鉄欠乏性貧血、透析中の慢性腎不全、妊娠、糖尿病、慢性関節リウマチなどの疾患、あるいは抗精神薬、抗うつ薬やアルギー薬、お酒、コーヒーや嗜好(しこう)品が原因の2次性のものがあります。ただ、この不快感が他の症状の原因でないかチェックする必要があり、まずは睡眠や精神神経など専門の医師の受診をお勧めです。以上です

かないでの、落ち着かない？



朝倉病院
理事長／院長
田辺 裕久さん